

高度技術提案型総合評価方式の試行事例（平成17年度）

地 整 名		東 北	東 北	関 東	北 陸
工 事 名		胆沢ダム洪水吐き打設(第1期)工事	一般国道45号両石高架橋工事	国道1号原宿交差点立体工事	女川第4砂防堰堤工事
工事の概要		胆沢ダム洪水吐きについて、コンクリート打設を行なう工事である。 ・岩盤面処理：A = 約 36,100m ² ・コンクリート製造・打設：V = 約 201,000m ³ ・基礎処理：L = 約 5,000m ・取水設備：一式 ・コンクリート製造設備：一式 ・給排水設備：一式	一般国道45号に設置する両石高架橋について、詳細設計及び実施施工を一括して発注する設計・施工一括型の試行事例である。 (詳細設計) ・橋梁上部工設計：一式 ・橋梁下部工設計：一式 ・仮設工設計：一式 ・道路設計：一式 (実施施工) ・橋梁上部工：一式 ・橋梁下部工：一式 ・仮設工：一式 ・土工：一式	一般国道1号の原宿交差点の立体化について、詳細設計及び実施施工を一括して発注する設計・施工一括型の試行事例である。 (詳細設計) ・設計延長：L = 828m ・道路設計：一式 ・道路付属物設計：一式 (実施施工) ・工事延長：L = 828m ・切廻し道路：一式 ・道路アンダーパス工事：一式 ・舗装・排水工：一式 ・道路付属物：一式	砂防堰堤1基(基礎部コンクリート約1,300m ³)の工事と法面工(堰堤左岸部)の設計及び工事を一括して実施するものである。 (詳細設計) ・法面工：一式 (実施工事) ・掘削工：一式 ・砂防堰堤工：一式(コンクリート約1,000m ³) ・法面工：一式 ・仮設工：一式
公告日		平成17年9月26日	平成17年10月7日	平成17年9月7日	平成17年11月18日
入札日		平成18年3月10日	平成18年3月10日	平成18年3月7日	平成18年3月23日
工期		平成22年3月10日まで	平成20年3月21日まで	平成18年3月18日から平成20年3月31日まで	平成19年12月20日まで
手続期間		約5ヶ月半	約5ヶ月	約6ヶ月	約4ヶ月
発注条件	発注範囲	施工	設計・施工一括	設計・施工一括	設計・施工一括
	標準案の有無	なし	あり	なし	なし
評価項目		コンクリート打設計画に係る提案	橋梁上部の出来形、品質の向上に係る提案 橋梁下部(基礎を含む)の出来形、品質管理に係る提案 工事中の周辺環境等への配慮に係る提案	アンダーパス部供用までの施工日数の提案	法面対策工に係る提案 掘削の方法に係る提案 仮設備計画(資材の運搬方法)に係る提案
技術評価点の設定		判定方式 ・標準点：100点 ・加算点：10点	判定方式 ・標準点：100点 ・加算点：10点(3点 3点 4点)	数値方式 ・標準点：100点 ・加算点：上限の規定なし(0.25点/日)	判定方式 ・標準点：100点 ・加算点：30点(15点 10点 5点)
要求要件		打設方法に対する技術提案が施工条件を満たし、適性である。	橋梁上部の出来形、品質の向上に係る施工計画が示されていること。 橋梁下部(基礎を含む)の出来形、品質の向上に係る施工計画が示されていること。 工事中の周辺環境等への配慮に係る施工計画が示されていること。	アンダーパス部供用までの施工日数が540日以下 (なお、当工事以外の全体工事においてもV E提案に基づくアンダーパス部供用部までの施工日数の提案を行なうものとし、最大日数900日を最低限の要求要件とする。)	V E提案に係る技術提案書が適性である。 同上 同上
評価方法		打設方法に対する提案 優：特に着目される目標を達成するための高度な技術提案を行うとともに、配慮すべき事項、効果、確実性、安全性、環境への配慮、管理方法などを具体的に記載している。 良：上記に比較し、相対的に技術力が劣るものの、配慮すべき事項、効果、確実性、安全性、環境への配慮、管理方法などを具体的に記述している。 可：上記以外のもの	橋梁上部の出来形、品質の向上について 優：特に着目される目標を達成するため適切な技術提案を行なうとともに、配慮すべき事項、課題、対策内容、施工方法、施工範囲、管理手法、実績等を示し具体的に記述している。 良：上記に比較し、相対的に技術力が劣るものの、配慮すべき事項、課題、対策内容、施工方法、施工範囲、管理手法、実績等を示し具体的に記述している。 可：V E提案で上記以外のもの 橋梁下部(基礎を含む)の出来形、品質管理について(同上) 工事中の周辺環境等への配慮について(同上)	アンダーパス部供用までの施工日数の提案 標準点は、アンダーパス部供用までの施工日数提案のうち最大の日数(標準日数)を提案したものとす。標準日数より施工日数を短縮した提案に対して、1日短縮する毎に0.25点の加算点を与え、上限は設定しない	法面対策工に係る提案 優：新技術の採用又は独創的な創意・工夫による提案であり、高い現場適合性、確実性、施工性が具備され、その内容が具体的にわかりやすく記述されており、高い信頼性が期待できる。 良：既存の工法ではあるが、新たな工夫を加え、現場適合性、確実性、施工性が具備され、適切な工法と認められる。 可：既存の工法で、現場適合性、確実性、施工性が具備されている。 掘削の方法に係る提案(同上) 仮設備計画に係る提案(同上)
総合評価に関するペナルティの取り扱い		・工事成績評定の減点	・工事成績評定の減点	・工事成績評定の減点 ・違約金(実際に確認できた施工日数に基づき加算点の再計算を行ない、落札時の評価値との差額に対応する金額の支払を求める。)	法面対策工に係る提案が未達成の場合： ・工事成績評定の減点(2.5点) 違約金() 掘削の方法に係る提案が未達成の場合： ・工事成績評定の減点(1.5点) 違約金() 仮設備計画に係る提案が未達成の場合： ・工事成績評定の減点(1.0点) 違約金() 違約金 = A - A × ((B + C) / (B + D)) A：当初入札金額 B：標準点 = 100点 C：施工後の評価項目の実施工による加算点 D：当初入札時に記載した提案による加算点
技術対話の方法	技術提案の改善概要	なし	なし	・道路機能を満たすための諸数値(道路こう配など)が確認できない箇所、数値が不足している箇所 ・切り直し道路の線形や切り直し道路が未買収地(4カ所)に影響を及ぼさない施工計画 ・提案された新技術・新工法によって可能となる工期短縮日数の根拠・確実性	・施工計画において、切直し道路の線形や切り直し道路が未買収地へ影響を及ぼさないよう改善を要請等(提案者による改善項目は無し)
	改善過程の公表の有無	なし	なし	改善過程の概要を公表	改善過程の概要を公表
予定価格の作成	予定価格の作成方法	標準案に基づき予定価格を算出。	標準案(予備設計)に基づき予定価格を算出。 歩掛がない工種については、標準案と同様の提案のあった業者の見積りを参考に算出。	評価値の最も高い技術提案に基づき予定価格を算出。	評価値の最も高い技術提案に基づき予定価格を算出。
	予定価格	10,263,170,000円	946,990,000円	3,343,310,000円	204,420,000円
落札結果	入札参加者数	3社 (予定価格内1社)	6社 (予定価格内3社)	3社 (予定価格内2社)	4社 (予定価格内2社)
	落札者名	西松・佐藤・東急特定JV	清水建設(株)	大成建設(株)	アイサワ工業(株)
	落札価格	9,550,000,000円 (落札率93.1%)	595,000,000円 (落札率62.8%：低入札価格調査実施)	1,940,000,000円 (落札率58.0%：低入札価格調査実施)	98,000,000円 (落札率47.9%：低入札価格調査実施)
	価格順位	1位 (最低価格者)	1位 (最低価格者)	1位 (最低価格者)	1位 (最低価格者)
	評価項目に対する提案内容	盛立工事(別工事)の進捗に影響を与えない打設計画	被膜養生剤の散布、事前に温度応力解析を実施等 事前に温度応力解析を実施、深礎杭に開口型ライナープレートを使用等 上部工移動作業員の安全ネット・遮水シート設置、落石防護対策実施、土留工計測管理実施等	アンダーパス部供用までの施工日数を90日短縮	レッグドリルのケーブルクレーンによる吊り下げ方法提案。 クライミングドリル、インバータチゼル削孔を採用。
	加算点	10.0点	4.0点	22.0点	10.0点
加算点順位	1位 (最高加算点者)	4位 (予定価格内2位)	2位 (予定価格内2位)	3位 (予定価格内2位)	

高度技術提案型総合評価方式の試行事例（平成17年度）

地 整 名		中 部	中 部	中 国
工 事 名		横山ダム国道303号新横山橋工事	1号静岡共同溝静岡西地区工事	尾原ダム建設第1期工事
工事の概要		横山ダム貯水池内に設置する（仮称）新横山橋について、詳細設計及び実施施工を一括して発注する設計・施工一括型の試行工事である。 （詳細設計） ・下部工（基礎工含む）：一式 ・上部工（付属物等含む）：一式 ・施工計画の策定（上部工の架設、架設工を含む）：一式 ・現道との取付部における道路改良工：一式 （実施施工） ・下部工（基礎工含む）：一式 ・上部工（架設、付属物等含む）：一式 ・仮設工（締切等）：一式	一般国道1号の静岡市葵区長沼地先から同市同区西門町までの箇所に設置する共同溝について、詳細設計、及び実施施工を一括して発注する設計・施工一括型の試行工事である。 （詳細設計） ・一般部工：L=3,390m ・特殊部工：9箇所 （実施施工） ・一般部工：L=3,390m ・特殊部工：9箇所	尾原ダムにおけるコンクリートダム本体工事である。 ・基礎掘削：V=約710,000m ³ ・コンクリート打設：V=約380,000m ³ ・基礎処理工：L=約13,000m ・仮設備工：一式
公告日		平成17年7月15日	平成17年10月3日	平成17年6月28日
入札日		平成17年12月14日	平成18年1月11日	平成18年2月28日
工期		平成17年12月22日から平成21年10月15日まで	平成18年1月17日から平成21年3月16日まで	平成21年3月31日まで
手続期間		約5ヶ月	約3ヶ月	約8ヶ月
発注条件	発注範囲	設計・施工一括	設計・施工一括	施工
	標準案の有無	なし	なし	あり
評価項目		総合的なコストに関する事項のライフサイクルコスト	特殊部の施工に伴う交通規制日数の短縮 トンネル掘進に伴う建設汚泥の発生抑制対策	施工日数 建設廃棄物処理対策 夜間照明対策
技術評価点の設定		数値方式 ・基礎点：100点 ・加算点：10点	数値方式 ・標準点：100点 ・加算点：20点（15点 5点）	数値方式、判定方式 ・標準点：100点 ・加算点：10点（5点 4点 1点）
要求要件		基本性能及び仕様書の設計条件を満足すること。	特殊部の施工に伴う交通規制日数の延べ日数が380日 トンネル掘進に伴う建設汚泥の発生量が39,700m ³	施工日数が1,345日以下 施工計画が標準案と同等 施工計画が標準案と同等
評価方法		総合的なコストに関する事項のライフサイクルコスト 入札時に提出する橋梁の建設費用と見積り提出時に発注者が算出する維持管理費との合計額が、最も低くなるものに最高10点の加算点を与え、基準設計金額（予定価格）の状態を0点とし、その他のものには、それぞれを按分して加算点を与える。	特殊部の施工に伴う交通規制日数の短縮 特殊部の施工に伴う交通規制日数の延べ日数が380日を最低限とし、交通規制日数を310日短縮した場合、最高15点を付与する。 トンネル掘進に伴う建設汚泥の発生抑制対策 トンネル掘進に伴う建設汚泥の発生量が39,700m ³ を最低限とし、その発生量を39,700m ³ 抑制した場合、最高5点を付与する。	施工日数 施工日数が最短の提案については加算点の満点である5点を付与し、その他は0.1点単位で按分する。ただし、最高提案者の短縮日数が標準案の10%未満である場合の加算点については（標準案-提案値）/（標準案×10%）×5点とする（与えられる点数は5点未満となる）。 建設廃棄物処理対策 提案された対策について、優/良/可の3段階で評価し、配点はそれぞれ4点/2点/1点を与える。 夜間照明対策 提案された対策について、優/良/可の3段階で評価し、配点はそれぞれ1点/0.5点/0.2点を与える。
総合評価に関するペナルティの取り扱い		・瑕疵担保期間は土木工事契約書の定めるところによるものとし、総合評価において算出する維持管理費の額及び想定される更新に関する瑕疵は、明らかに請負者の責と認められる場合を除き求めない。	・違約金（実際の達成値に基づく加算点を再計算し、落札時の評価値に相応する評価額を求め、入札価格との差額の支払を求める。ただし、ペナルティ額は入札価格の20%を上限とする。）	・1 提案日数が未達成の場合 ・工事成績評定の減点（提案値からの遅延日数に応じ、1日あたりに与えられた落札時の加算点と同じ点数を減点） ・2 標準案日数が未達成の場合 ・延滞金の徴収（請負代金額につき、標準案からの遅延日数に応じて年5%の割合で計算した額を延滞金として徴収） 「建設廃棄物処理対策」、「夜間照明対策」の提案値が未達成の場合 ・工事成績評定の減点（遵守できなかった評価項目毎に「優」に相当する点数を減点）
技術対話の方法	技術提案の改善概要	・防水層を遮水性、遮塩性ひびわれ追従性に優れた高機能防水層に改善 ・舗装を耐摩耗性・耐ひびわれ抵抗性に優れた高機能舗装に改善 ・伸縮装置を軽量、小型で耐久性に優れたアルミ合金鋳物製に改善 ・排水装置を軽量で耐蝕性に優れた高気密ステンレス管排水装置に改善等	・特殊部の施工に伴う交通規制日数の短縮 ・トンネル掘進に伴う建設汚泥の発生抑制対策 ・実施設計における新技術、新工法の技術提案	・ダム土工に関する改善 ・原石採取工に関する改善 ・コンクリート打設、製造設備に関する改善 ・濁水、給排水処理設備に関する改善 ・新技術導入による改善
	改善過程の公表の有無	改善過程の概要を公表	改善過程の概要を公表	改善過程の概要を公表
予定価格の作成	予定価格の作成方法	技術提案した橋梁の建設に要する費用と維持管理費の合計額（LCC）が最小となる提案の見積書の橋梁工事価格に基づき予定価格を算出。	評価値の最も高い技術提案に基づき予定価格を算出。	評価値の最も高い技術提案に基づき予定価格を算出。
	予定価格	3,601,850,000円	5,841,780,000円	12,073,130,000円
落札結果	入札参加者数	7社 （予定価格内2社）	5社 （予定価格内4社：ただし、1回目の入札は不調）	4社 （予定価格内2社）
	落札者名	鉄建・オリエンタル特定JV	大成・三井住友特定JV	清水・飛鳥・東亜特定JV
	落札価格	3,520,000,000円 （落札率97.7%）	5,750,000,000円 （落札率98.4%）	10,280,000,000円 （落札率85.1%）
	価格順位	1位 （最低価格者）	1位 （最低価格者）	1位 （最低価格者）
	評価項目に対する提案内容	最低のライフサイクルコストを提案	交通規制日数50日短縮	施工日数：最短の短縮日数を提案 70日(2.6点) 建設廃棄物処理対策：優評価(4点) 夜間照明対策：優評価(1点)
	加算点	10.0点	2.4点	7.6点
加算点順位	1位 （最高加算点者）	1位 （最高加算点者）	1位 （最高加算点者）	